

(様式1)

# 環境配慮検討書

令和 2年 3月 3日

三重県環境調整システム推進会議 会長 様

尾鷲農林水産事務所長

三重県環境調整システム推進要綱第4条の規定に基づき提出します。

対象事業の名称	農地中間管理機構関連農地整備事業 中里地区	
連絡先	担当課所名	尾鷲農林水産事務所 農政・農村基盤室 基盤整備課
	電話番号	0597-23-3493

1 事業の計画の名称、目的及び内容

(1)名称	農地中間管理機構関連農地整備事業 中里地区		
(2)目的	当地区内の農地は10a区画に整備され(年度は不詳)、比較的集積が進んでいる地域であるが、個人経営も2割ほどある。経営農家は米価の下落等の影響を受けて早急に担い手への集積を図る必要があるが、狭小な区画と、老朽化した水路等の整備の遅れでなかなか進まない状況である。このため本事業にて農地の大区画化、用水路のパイプライン化を行い、農地中間管理機構による担い手への農地の集積・集約化を加速化し、豊かで競争力ある農業の実現に資する。		
(3)事業主体	三重県		
(4)計画内容	①計画地の位置 ※位置図を添付すること	三重県北牟婁郡紀北町中里 地内	
	②建物・施設等の概要 (用途、規模、面積、配置等) ※配置図を添付すること	整地工A=7.0ha、用水路工L=1.0km 揚水機場 1基 ◎揚水機場 用途：農業用水施設 規模：φ125×7.5kw×2基 Q=0.065m <sup>3</sup> /s	
	③用水の使用計画	かんがい期間：4月17日～7月20日、95日間 水源：西山谷川伏流水	
	④エネルギーの使用計画	なし	
	⑤雨水、汚水の排水計画	雨水：開水路により既存の排水路に流下させる。 汚水：汚水の排出は無い。	
	⑥道路・交通計画	なし	
	⑦工期	ア)着工の予定時期  イ)完工及び供用開始の予定時期	・着工：令和2年 4月頃予定  ・完工：令和6年 3月頃予定 ・供用：令和6年 4月頃予定
(5)関連事業計画	なし		
(6)その他	なし		

2 計画地の社会的条件の現況等

(1)計画地の社会的条件の現況	① 交通の現況	計画地内の農地に隣接している農道は狭小であるが、一部幅3m程度の農道があり、営農に供している。
	②土地利用の現況	本地区は船津川沿いの農振農用地で、主に水田である。
	③水域利用の現況	水域利用は無い。
	④生活関連施設の現況	a. 学校施設：なし b. 医療施設：なし c. 公共施設：なし d. 文化施設：なし
(2)関係法令等による地域の指定・規制状況	①自然環境保全地域等の指定状況	自然環境保全地域（地区）、自然公園地域（区域）、鳥獣保護区の指定状況 a. 自然環境保全地域：なし b. 自然公園区域：なし c. 鳥獣保護区：なし d. 鳥獣保護区特別保護区：なし
	②土地利用規制の現況	都市計画法、農業地域振興法、森林法等の規制状況 a. 都市計画法：なし b. 農業地域振興法：農業振興地域、農用地区域 c. 森林法：なし d. 砂防法：なし e. 地すべり防止法：なし f. 急傾斜地災害防止法：なし g. 河川法：規制なし h. 漁港法：なし i. 海岸法：なし j. 文化財保護法：なし k. 景観法：三重県景観計画区域

3 計画地の自然的条件の現況

(1)地形・地質	文献調査	文献名	紀北町田園環境整備マスタープラン 中里地区 実施計画策定業務委託		
	現地調査の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 (実施日時R元.7.23 )		聴取調査の有無	有 ・ <input type="checkbox"/>
	調査結果等	本地域は河川添いに展開する主傾斜1/300の程度の農地で、土壌系統は灰色土壌の水田地帯である。			
(2)水象	文献調査	文献名	紀北町田園環境整備マスタープラン 中里地区 実施計画策定業務委託		
	現地調査の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 (実施日時R元.7.23 )		聴取調査の有無	有 ・ <input type="checkbox"/>
	調査結果等 ① 河川、湖沼	二級河川船津川右岸に位置する水田である。			
	② 海域	なし			
(3)気象・大気質等	調査の方法	気象庁データ (紀伊長島測候所 1981年~2010年)			
	調査結果	気温：かんがい期 (4~9月) 21.4℃非かんがい期 (10~3月) 10.2℃ 年平均15.9℃ 降水量：かんがい期 (4~9月) 1,778.6mm、 非かんがい期 (10~3月) 816.4mm 年平均2,595mm 最多風向：不明 平均風速：0.9m/s 大気質：不明 水質：不明 騒音：不明 振動：不明			
(4)生態系等	文献調査	文献名	紀北町田園環境整備マスタープラン		
	現地調査の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 (実施日時 H31.4.27 R元.6.5)		聴取調査の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
	調査結果等 ① 植物	植生の概要：ヨモギ類等 貴重な植物個体：なし 貴重な植物群落：なし			
② 動物	動物相の概要：クロスジギンヤンマ、シオカラトンボ、ハラビロトンボ、ショウジョウトンボ、ドジョウ、ヌマガエル、シュレーゲルアオガエル、アカハライモリ、トノサマガエル、キジ、アマサギ、チュウサギ、カジカガエル、クサガメ、オオタニシ 貴重な動物：チュウサギ (国NT、県VU)、ドジョウ (国NT)、アカハライモリ (国NT)、トノサマガエル (国NT)				

(5)自然景 観・文化 財等	文献調査	文献名	紀北町田園環境整備マスタープラン		
	現地調査の有無	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	(実施日時 )	聴取調査の有無	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
	調査結果等 ①自然景観	<p>自然景観の概要： 農地や農業用施設等について適切な維持管理により周辺の里山景観との調和を図り、良好な農村景観等の保全を行っている。</p> <p>貴重な自然景観：特になし</p>			
	②文化財、史 跡、名勝等	<p>史跡・名勝・天然記念物：なし</p> <p>埋蔵文化財包蔵地：なし</p>			
③野外レクリエー ション 他	なし				
(8)その他、 自然災害 等					

4 事業計画の検討内容（複数案比較が実施できない場合）

複数案比較が実施できない理由	本事業は農地中間管理機構を通じ、農地の担い手への集積・集約化を加速化し豊かで競争力ある農業の実現に資する事業であり、事業実施要綱要領上の制約があるため比較検討は行っていない。
----------------	---

※環境配慮事項ごとに、環境配慮度を◎○ーで記入し、その配慮の内容及び配慮度の評価の理由を記入すること。

<p>環境配慮技術指針の配慮目標</p> <p>①循環を基調とした持続的発展が可能な社会の構築</p> <p>②人と自然が共にある環境の保全</p> <p>③やすらぎとおいしいのある快適な環境の創造</p>	<p>環境配慮度</p> <p>◎：十分配慮している。</p> <p>○：配慮している。</p> <p>ー：特に配慮する必要がない。</p>
---	--

技術指針に基づく環境配慮事項	環境配慮度	環境配慮の内容 (-の場合は、無記入でも可)	配慮度の評価の理由
①-1 地球温暖化防止	○	事業実施前後で温暖化への影響に変化はない。なお、工事に際しては排出ガス対策型建設機械を使用する。	排出ガス対策
①-2 廃棄物対策	○	事業実施前後で廃棄物の排出量に影響はない。なお、工事による発生材は三重県建設副産物処理基準に基づき適切に処分する。	リサイクル対策
①-3 生活環境の保全	○	事業実施前後で生活環境への影響はない。なお、工事に際しては低騒音低振動型建設機械の使用に努める。	周辺環境
①-4 その他重点事項	ー		
②-1 野生生物等の生育空間の確保	○	事業実施前後で区画形状の変更はあるものの、整備後も田畑として利用するので、生育空間は確保される。	現状改変の最小化
②-2 希少な野生生物の保護	○	改変区域を最小限にするよう計画し、生息環境の保全を図る。これまでの調査で確認されなかった希少生物が改変区域内に確認された場合には有識者を交えて協議を行う。	改変区域の最小化 希少生物の保護
②-3 地形、地質等の改変の抑止	○	1筆あたりの農地区画は拡大されるが、現況の地形勾配に、出来る限りあわせる区画形状を計画し、切盛土量のバランスをとることで、地形の改変を最小に抑える。	地形改変の最小化
②-4 その他重点事項	ー		
③-1 緑化、周辺景観との調和	○	事業実施前後も農地として利用されるため、周辺環境と調和した農村風景が維持される。	農業農村空間の維持
③-2 親水等、ふれあい空間づくり	○	事業により耕作放棄が防止されることから、農村環境が維持される。	農村環境の維持
③-3 その他重点事項	ー		
④上記以外の特記事項	ー		

5 事業計画案の環境配慮に係る評価

従来の事業等と比較して優れている点	本事業が実施されることから、営農経費の節減、国産物の安定供給にもつながる。また地域の農業活動の維持が図られ、農業農村環境がもつ多面的な効果が期待される。
今後の課題	
会議での調整を要する事柄	